

の主に中央部と太平洋側に多く分布し、近畿、中国、四国に少なく、九州の北中央部山地に再び多くなるグループです。

サクラスマレ・アケボノスマレ・ヒナスミレ  
ヒカゲスマレ

④ 日本海側少産型

多雪地帯である東北から中部にかけての日本海側に少なく、積雪をきらうように見えるグループです。

エイザンスミレ・ヒゴスマレ・フモトスマレ  
マルバスマレ

⑤ 日本海側型

北海道の主に南西部から、東北の日本海側と中央部、関東と中部及び近畿中国にかけての日本海側の積雪地帯に分布するグループです。

スマレサイシン・オオタチツボスマレ・オオバキスマレ  
ミレ・イソスマレ・テリハタチツボスマレ・ナガハシ  
スマレ

⑥ 太平洋側型

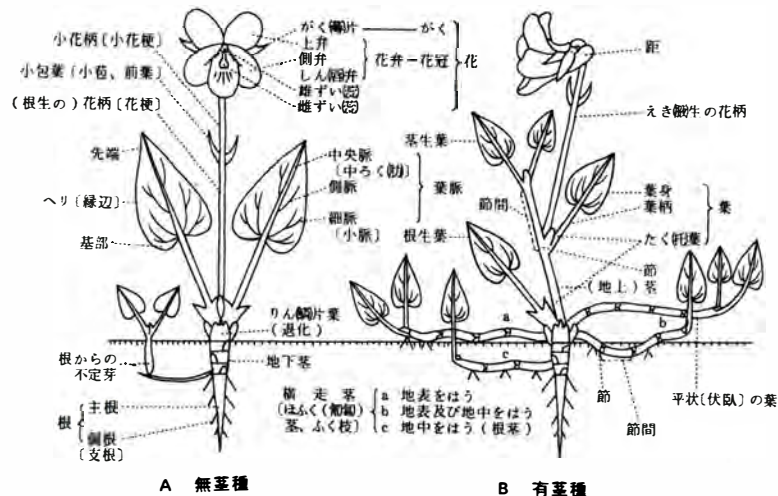
九州、四国、近畿中南部、中部南部から一部は関東中南部に及ぶ太平洋沿岸地帯に分布するグループです。

ナガバノスマレサイシン・コマヤマスマレ・シコク  
スマレ・ヒメミヤマスマレ・キスマレ

⑦ 北海道産型

北海道に限りて分布するグループで、貴重種ばかりです。  
ケヅキシスマレ・フギレオオバキスマレ・シソバスマレ・  
シレットコスミレ・タニマスマレ・ジンヨウキシスマレ・エ  
ヅキシスマレ

(4) スミレ属の形態



⑧ 東北日本型

北海道から東北中央部、中部の中央部に分布するグループです。  
エゾノタチツボスマレ・ミヤマスマレ、シロスマレ、ホソバシ  
ロスマレ・キバナコマノツメ・ウスバスマレ・アイスタチツボ  
スマレ・オオバタチツボスマレ・マキクスミレ・ノスマレ

⑨ 隔離型

日本ではとびとびに、隔離的、遺存的な分布を示すグループで  
す。

ゲンジスマレ・イブキシスマレ・タチスマレ

⑩ 中央日本型

長野県を中心とする本州中央部に限りて分布するグループです。  
ヒメスマレサイシン、タデスマレ・フジスマレ・ヒトツバエゾ  
スマレ

⑪ 西南日本型

本州中部の太平洋側から、近畿・四国・九州に分布するグル  
ープです。

ナガバノタチツボスマレ・コタチツボスマレ・ホソバシロスマレ

⑫ 南西諸島型

南西諸島を本拠とするグループです。

ツクシスマレ・リュウキュウシロスマレ

(3) 日本産スマレ属の垂直分布 (本州中央部による)

ニョイスミレ	( 0 ~ 2300 m )
フモトスマレ	( 0 ~ 2200 m )
タチツボスマレ	( 0 ~ 2000 m )
アカネスマレ	( 0 ~ 1500 m )
エイザンスミレ	( 300 ~ 2400 m )
タカネスマレ	( 2600 m ~ )
オオバキスマレ	( 0 ~ 2700 m )

参考文献

- ・ 浜 栄 助 原色日本のスマレ
- ・ 朝日百科 世界の植物
- ・ 世界文化社 植物5

山形のおしば展

— 趣味の植物 —

会期 昭和57年3月6日(土)

昭和57年4月11日(日)

会場 山形県立博物館

(山形市霞城町1-8)  
TEL 45-1111

開催にあたって

本展は、県内の植物同好者からご出品いただいた「おしば標本」をもとにして開催いたしております。県内各地から寄せられた「おしば標本」には県内の植物分布を大幅に書きかえなければならぬ新発見や地域的に貴重な「標本」が数多く含まれており、学術的にもきわめて価値の高い催しであります。

出品者のように、身近にある自然を地道に探求することは、山形の自然史研究を質的に向上発展させるうえで、大きな役割を果たすものと信じます。ご出品の方がたに厚くお礼を申し上げますとともに、これからも、新道発展のために、ますますご精進くださるようお願いいたします。

本館からは、昭和48年9月、山下一夫氏よりご寄贈いただいた「おしば標本」約10万点のうち、整理の終わった「スマレ科・キキョウ科の標本」を用いて系統的に分類、展示いたします。

この機会に、ぜひ、ご観覧ください、山形の植物会の多様さ、また、植物と人間とのかかわりあいをご理解いただければ幸いです。

山形県立博物館長

# 出品目録

小形利吉 山形市東原町2-2-7  
 ツルアズキ 山形市鳥居ヶ丘 (分布稀)  
 トキンソウ "  
 コニシキソウ "  
 ホソバウンラン 山形市岩波 (新採集)  
 クサフジ 山形市あこや町  
 ノコギリカワゴケ 天童市大字高木

加藤信夫 藤島町古郡水押10  
 オトメニオイタチツボスミレ 遊佐町杉沢 (分布稀)  
 ワタニキヤコグサ 酒田市最上川畔 (新採集)  
 シロバナオオタチツボスミレ 平田町中野俣川上流  
 ユウシュンラン " (分布稀)  
 シャクチリソバ 鶴岡市七窪 (新採集)

大高滋 尾花沢市大字尾花沢3645  
 キバナハシリドコロ 尾花沢市牛房野 (新採集)  
 シロバナオオタチツボスミレ 尾花沢市翁山  
 ヤマルリトラノオ " (分布稀)  
 コガマ 尾花沢市丹生川  
 ノランジン " 銀山 (新採集)  
 ムラサキボタンヅル " 銀山上畑 (分布稀)  
 ヒトツボクロ " 長根山  
 シロバナリソウ 尾花沢市大海平  
 ハクサンハタザオ "  
 センナリホオズキ 尾花沢市内畑

佐川昇 山形市東原町3-8-13  
 アイアスカイノデ 山形市平清水  
 ムクゲシケンダ 舟形町長沢 (新採集)  
 タニヘゴモドキ 最上町堺田 (分布稀)  
 ホソバイヌワラビ " ( " )  
 フジシダ 寒河江市慈恩寺 (新採集)  
 シケチシダ 大江町大頭森山  
 クマワラビ 上市市金山峠  
 チチブイワガネ 天童市若松観音 (分布稀)  
 コバノイシカグマ 朝日町太郎 ( " )  
 オオベニシダ 尾花沢市芦沢 (新採集)  
 ヒロハハナヤスリ 東根市牛居川  
 ゲジゲジシダ 上市市湯坂  
 イワヒメワラビ 大石田町海谷  
 オオヒメワラビ 山形市八森  
 トガリバイヌワラビ 新庄市鳥越 (新採集)  
 ヤワラシダ " (分布稀)

鈴木 暁 上市市新丁29  
 ノランジン 上市市長清水 (新採集)  
 ヤブツルアズキ "  
 アオゲイトウ 上市市藤吾  
 クログワイ " 久保川林道  
 コイヌノハナヒゲ " 大石蔭  
 シロバナシナガワハギ " 竜沢林道 (新採集)  
 タツノヒゲ " 仙石  
 マツカゼソウ 上市市葉山 (新採集)  
 コアカソ " (分布稀)  
 カラスノゴマ 上市市中山 ( " )  
 ムラサキニガナ " 小穴峠 ( " )  
 ホタルサイコ " 久保川  
 オクノフウリンウメモドキ 川西町大舟  
 キッコウハグマ 山辺町愛宕山  
 タカサブロウ 天童市山元

舟越順悦 山形市大字上桜田633-1  
 トモエソウ 山形市八森追立  
 ネジバナ " "  
 シデジャシン 山形市八森 (分布稀)  
 ヤダケ " 猿岡山  
 ナガボノシロワレモコウ " 上桜田  
 ミヤマウグイスカグラ " (分布稀)  
 タニウツギ 山形市岩波  
 セイヨウハッカ " 平清水

石山美恵子 山形市城北町1-1-6  
 オオネズミガヤ 山形市土坂  
 ヒロハノマンテマ "  
 セイヨウヒルガオ 山形市荒楯町  
 ナベナ 山形市西蔵王高原 (分布稀)  
 アメリカオニアザミ " (新採集)  
 ブタクサ 山形市城北町  
 キバナアキギリ 羽黒町羽黒山  
 ノニガナ 東根市古最上 (分布稀)  
 ナンバンハコベ 飯豊町下屋地

阿部幸作 朝日町  
 カラー写真  
 ハクサンジャクナゲと大朝日岳 7月上旬  
 ダケカンバと大朝日岳の初冠雪 10月中旬  
 新緑と朝日川 5月下旬  
 大朝日岳の夜明け 7月下旬  
 西朝日岳の雪田植生 7月下旬  
 ショウキラン  
 ミヤマリンドウ  
 ウスユキソウ

ウサギギク  
 ヒナザクラ  
 クルマユリ  
 ホロムイソウ  
 チシマギキョウ  
 リンネソウ  
 トウゲヅキ  
 白黒写真  
 残雪に遊びイワツバメ

白田正蔵 朝日町大字大谷1385  
 植物色紙  
 アジサイ  
 ネジバナ  
 植物額  
 ダイモンジソウ  
 イヌタデ  
 オオエノコロ  
 アオイ  
 クリ  
 ナノハナ  
 ヤブタデ・ススキ

## ※ 日本産のスミレについて ※

スミレ科は、世界に19属約800種、日本に野生するスミレ属は57種、主な亜種と変種が27種もあって、世界有数のスミレの国です。

### (1) スミレ属の特徴

- ① 花の形は左右対称です。
- ② がく片も花びらのおしべも5個ずつあります。
- ③ 下側の花びらの一部分が、後ろに出っぺっています。

### (2) 日本産スミレ属の分布 (浜 栄助氏による)

- ① 普遍型  
 日本各地に広く分布する適応性の大きい、最も普通に見られるグループです。  
 タチツボスミレ・ニオイタチツボスミレ・アオイスミレ・スミレ・アカネスミレ・ニョイスミレ
- ② 居住地域多産型  
 普遍型に近い分布型を示すグループで、生育地が、主に平地の人間居住地域や、その周辺无路傍・石垣・畑・山麓などです。居住地を離れた奥深い山地には広がらない特徴もっています。  
 ノジスミレ・コスミレ・アリアケスミレ・ヒメスミレ
- ③ 東北日本多産型  
 北海道から東北にかけての、主に太平洋側、関東や中部